



【敷地全景】

2012年5月24日に地縄(じなわ：建築工事を始めるとき、敷地に建物の位置を示すために張り巡らす縄。)の確認を行いました。境界からの寸法を確認したところ図面と異なる寸法でしたので、再度地縄を行い確認することになりました。(当日立会いしていただいたのは、〇〇様、〇〇さんです。)



【配置の確認】

6月8日に再度、建物の配置を確認しました。〇〇さん立会いのもと、境界から通り芯までの計測で問題のないことを確認しました。(写真は東南角の境界からX14通り芯までの寸法1700mmです。)



(写真は東南角の境界からY5通り芯までの寸法500mmです。)



【全景】

2012年6月8日に基礎配筋検査を行いました。(当日立会いしていただいたのは、〇〇さんです。)



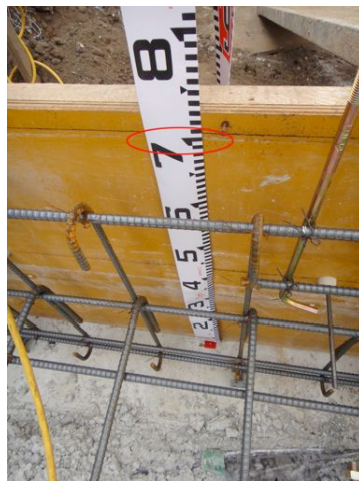
【外周部配筋の確認】

南側のFG9外周部の配筋の確認です。高さ1200(300+900)mmに、上下それぞれに太さD13mmの主筋、その間に太さD10mmの腹筋が各4本、スターラップ(主筋に一定間隔で垂直に巻き付けた鉄筋)は200mm間隔の太さD13mmで図面通りです。また、かぶり厚(鉄筋を覆っているコンクリートの表面までの厚さ)40mm以上確保されていました。問題ありません。



【外周部配筋の確認】

西側のFG5外周部の配筋の確認です。高さ750(300+450)mmに、上端に太さD13mm、下端に2本の太さD13mmの主筋、その間に太さD10mmの腹筋、スターラップ(主筋に一定間隔で垂直に巻き付けた鉄筋)は200mm間隔の太さD10mmで図面通りです。



【外周部配筋の確認】

北側のFG8外周部の配筋の確認です。高さ700(550+150)mmに、上端に太さD13mm、下端に2本の太さD13mmの主筋、スターラップ(主筋に一定間隔で垂直に巻き付けた鉄筋)は200mm間隔の太さD10mmで図面通りです。



【基礎梁配筋の確認】

基礎梁FG4の配筋の確認です。主筋の上端4本・下端2本は太さはD16mm、スターラップ（主筋に一定間隔で垂直に巻き付けた鉄筋）は150mm間隔の太さD10mmで図面通りです。



【アンカーボルトの確認】

土台等を留めるアンカーボルトの設置が未完了でした。コンクリートの打設前に適切な位置に設置する必要があります。



【アンカーボルトの確認】完了後の確認

6月11日コンクリート打設前アンカーボルトの確認。1か所アンカーボルトが、図面と異なる位置にありました。Y1通りのX8付近。



【アンカーボルトの確認】是正後の確認

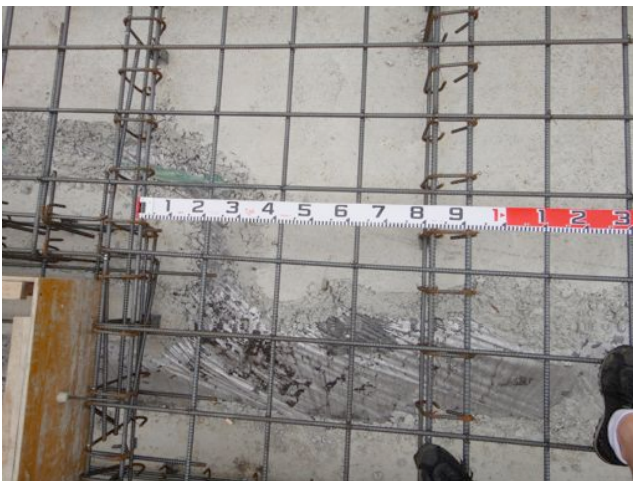
6月22日コンクリート打設後アンカーボルトの確認。図面通り是正され問題ありません。(Y1通りのX8付近)



【アンカーボルトの確認】完了後の確認
アンカーボルト(M12、M16)の設置状態を確認しました。問題ありませんでした。(M12埋め込み250mm以上、M16埋め込み360mm以上)



【耐圧盤(基礎の床)配筋の確認】
耐圧盤(基礎の床)の配筋の確認です。縦・横とも200mm間隔で、太さはD13mmで図面通りです。(写真はX方向の確認です。)また、下部捨てコンクリートと、60mm以上鉄筋が浮いていない箇所が一部ありましたので、寸法を確保します。



【耐圧盤(基礎の床)配筋の確認】
耐圧盤(基礎の床)のY方向配筋の確認です。



【外周部設備配管等の確認】
トイレ下部の先行設備配管の確認です。基礎立ち上がり部分への設備配管の設置がすべて未完了でした。



【外周部設備配管等の確認】完了後の確認
6月11日コンクリート打設前の確認です。基礎立ち上がり部分への設備配管を行っていました。配筋時の確認ができませんでしたので、打設前での確認を依頼しました。



【外周部設備配管等の確認】完了後の確認
6月22日コンクリート打設後の確認です。基礎立ち上がり部分での設備配管です。(写真はトイレ付近)



【外周部設備配管等の確認】完了後の確認
基礎立ち上がり部分での設備配管です。(写真はキッチン付近)